

日本遺産のまち甲賀

甲賀市は、忍者発祥の地として全国にその名を知られる忍びの里です。平成29年には、「忍びの里伊賀・甲賀 リアル忍者を求めて」と題したストーリーが日本遺産に認定されました。奇抜なアクションなどで海外でも人気の高い忍者ですが、「甲賀流忍者」の実像は互いに連携し、自分たちの地域の平和を守った「甲賀衆」と呼ばれる地侍集団でした。市内には、複雑な地形を利用して築かれた城館群、甲賀衆の寄合の場だった油日神社をはじめとする鎮守の社、山伏の修練場と伝えられる飯道山など忍者のストーリーを構成する文化遺産が多く存在します。これら甲賀流忍者ゆかりの地を巡れば忍者の真の姿をリアルに感じることが出来ます。市は日本遺産認定を受け、「忍びの里伊賀甲賀忍者協議会」を設立し、三重県伊賀市と連携して観光誘客や産業振興に取り組んでいます。

忍びの里・甲賀

-リアル忍者を求めて-



日本遺産

日本遺産とは

地域の歴史的経緯や伝承、風習を踏まえたストーリー（物語）を文化庁が認定する制度で、地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化して活用・発信することをめざしています。